



埼玉県議会議員

あらい一徳

平成31年3月
発行：あらい一徳
あらい一徳県政調査事務所
〒364-0031 北本市中央1-81
Tel.048-594-1600 Fax048-594-1602
県政調査事務所は、月～金のAM9:30～PM5:30に
開設中。ご意見ご要望をお寄せください。

安心、安全で豊かな暮らしの実現を目指して

平成31年度県予算が決定 ～北本市関連予算は約7億9000万円～

平成最後の定例会となる31年2月定例会が2月20日から3月15日まで24日間の日程で開かれました。今定例会では、過去2番目の規模となる、総額1兆8,884億6000万円にのぼる平成31年度の一般会計予算案をはじめとする各会計予算案や条例案などを審議しました。

平成31年度の一般会計予算案について、上田清司知事は「新時代へのチャレンジ予算」と命名しました。その背景には、平成時代における人口構造の大きな変化や相次いだ自然災害などを踏まえ、将来の課題を的確に見極めて、その解決に挑み、持続可能で活力あふれる埼玉県の新時代を切り拓いていくという思いがあります。

その実現のために、「スマート社会の実現」「輝け100年人生」「魅力的で持続可能な埼玉」を3本柱に据え、新たな施策を展開することとしています。

具体的には人工知能(AI)やIoTなどを導入してのスマート化や、児童虐待への対応、シニアへの支援、防災・減災対策の充実などに重点的に取り組みます。このほか、今秋のラグビーW杯、来年の東京オリンピック・パラリンピックに向けて、埼玉の魅力を発信するための施策も盛り込まれました。

私は慎重審議の上、これらの諸施策の一日も早い実行を図るため、各議案に賛成いたしました。

北本市に直接関連する事業につきましては、市民の皆様の思いを十分に踏まえまして、その実現に向けて要望活動などを通じて精力的に働きかけを行ってまいりました。その成果として、平成31年度の一般会計予算では約7億9000万円の予算を計上することができました。

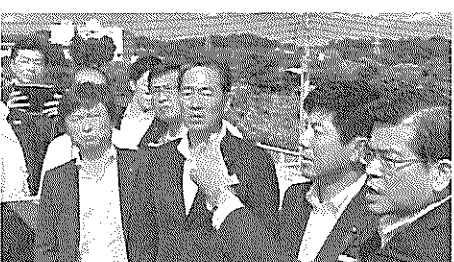
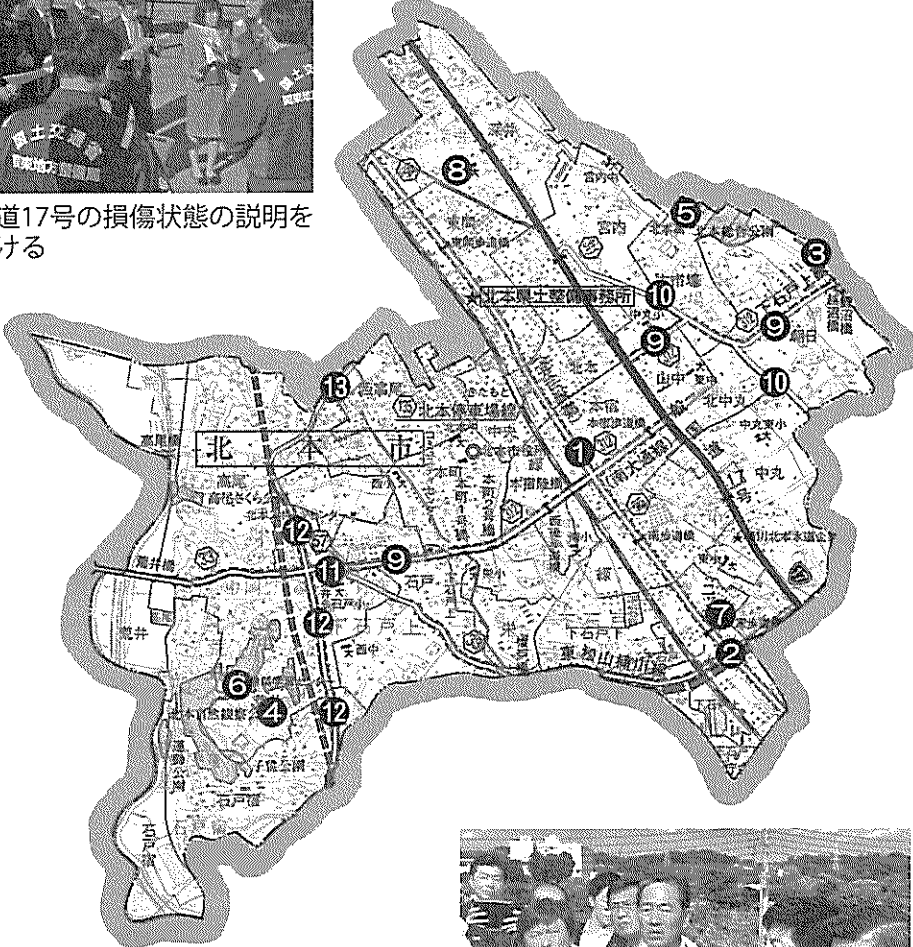
この結果、私が県議会議員として2期目に携わった平成28年度から4か年の県予算の合計は約27億円に上ったほか、上尾道路Ⅱ期区間の整備や国道17号の路面補修工事などでも国の予算約36億円(金額は平成28年度からの3カ年分、31年度分は未確定)が計上され、県民生活向上のための事業が実施されています。その主な事業をご紹介します。

今後とも、引き続き、ふるさと北本市において、市民の皆様が安心、安全で豊かな暮らしができるよう、諸課題に全力で取り組んでいく覚悟です。ご指導やご支援をよろしくお願い申し上げます。

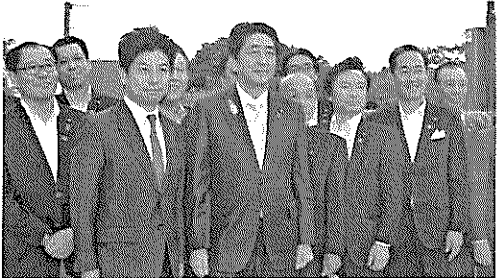
2期目の任期中に実現した北本市内の主な事業



▲国道17号の損傷状態の説明を受ける



▲石井国土交通大臣とともに上尾道路Ⅱ区間を視察



◀安倍総理の視察に同行

| 事業内容 | 事業年度 |
|-------------------------------|-------|
| ① 中山道(県道鴻巣桶川さいたま線)の街路整備 | 28～31 |
| ② 圏央道、県道東松山桶川線とJR高崎線との立体交差 | 28～29 |
| ③ 災害対策として、赤堀川の改修、機能復旧 | 28～31 |
| ④ 北里メディカルセンターの災害拠点病院としての充実・強化 | 30 |
| ⑤ 県立北本高等学校の学習環境の改善 | 29～31 |
| ⑥ 埼玉県自然学習センターの整備 | 28～31 |
| ⑦ 認定こども園の整備 | 30 |
| ⑧ 広域型特別養護老人ホームの整備 | 30～31 |
| ⑨ 県道下石戸上菖蒲線(石戸、山中、朝日地内)の舗装整備 | 28～30 |
| ⑩ 県道蓮田鴻巣線(宮内、古市場、北中丸地内)の舗装整備 | 29～31 |
| ⑪ 県道東松山桶川線(荒井地内)の舗装整備 | 29 |
| ⑫ 県道さいたま鴻巣線(高尾、荒井、石戸宿地内)の舗装整備 | 28～30 |
| ⑬ 県道さいたま鴻巣線(西高尾地内)の歩道整備 | 29 |

このほか、国関連予算では、上尾道路Ⅱ期区間の整備、国道17号の舗装整備など。

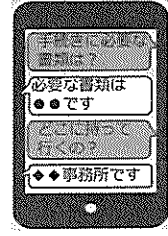
あらい一徳の議会活動の成果 平成31年度の主な事業

私が2期目(平成27年度～)の任期中、一般質問や予算特別委員会での質疑などで提案・提言したことにより、平成31年度に実現することが決まった主な事業をご紹介します。

県民向け

問合せAIの構築

人工知能(AI)を活用して、県民からの問い合わせに24時間365日対応する窓口を開設します。県民がパソコンやスマートフォンなどからアクセスし、AIが対話形式で適切な回答をします。問い合わせ件数の多いものから導入を図ります。



災害対策アプリの提供

危機管理防災部で発行している冊子「ITモ防災」をスマートフォンアプリとして県民に提供します。災害発生時に、県民に確実に情報を伝達するプッシュ通知や避難場所の家族間での共有など、アプリならではの機能を活用し、効果的な情報提供を行います。併せて、これまでに3編を発行している「ITモ防災」の第4編として「自宅サバイバル編」を編集します。自宅に備えるべき物品や、その用途などを詳しく紹介します。



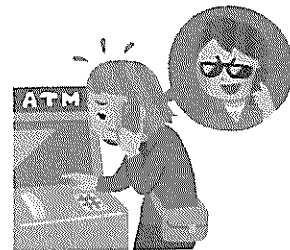
私学に通う家庭の負担軽減

平成30年度に引き続き、県内の私立高校に通う生徒がいて、年収が609万円未満の世帯を対象に、授業料の補助を行い、実質無償化します。また、私立高校や大学に通う生徒・学生が3人以上いて、年収720万円未満の世帯についても、

引き続き、実質無償化を図ります。さらに、ICT教育環境の整備を促進するため、私立高校等に対する補助を新設します。

振り込め詐欺被害の防止

多発する振り込め詐欺被害を防ぐため、被害防止に有効な自動警告付き通話録音装置などの対策機器や在宅時における留守番電話設定の有効性や必要性を実感することができるよう、操作の体験などを伴うワークショップ型の啓発活動を実施します。



医師確保対策の推進

医師不足や診療科、診療地域の偏在を解消するため、最先端の知識・技術を習得できる留学支援制度の創設や、外部機関による臨床研修プログラム評価制度の県内臨床研修病院への導入促進を図り、研修医などの若手医師にとって魅力的な「埼玉ブランド」を構築し、医師の確保・定着や質の高い医師の育成を図ります。



埼玉農業の担い手育成

埼玉農業の将来に向けた担い手

を確保するために、地域の核となる農業法人を育成します。農業法人グレードアップ事業として、高い経営力を有する農業法人の経営者を育成するために、組織・就労体制の整備や事業展開の手法などを習得させる塾を開講します。



県立病院の診療体制の強化

熊谷市の循環器・呼吸器病センターに「脳神経センター」を設置し、脳卒中の脳血管内治療を提供する体制を整えます。



子どもの居場所づくりと貧困の連鎖解消

地域において子どもの健やかな成長を支援する「子ども食堂」などの子どもの居場所づくりを推進し、現在ある164か所を800か所まで増やします。そのため、居場所の立ち上げや運



営などを支援するためのアドバイザーを養成して、各地に派遣するとともに、フォーラムや研修会などを開催し、社会で取り組む機運を醸成します。また、貧困の連鎖を解消するため、生活困窮世帯や生活保護世帯の子どもの学習・生活支援を拡充します。

児童虐待防止対策の充実

児童虐待の防止に向けて、全国の取り組みとして、児童相談所と警察署との間で情報をリアルタイムで共有するシステムを構築します。また、児童相談所の機能強化として、警察官OB職員や虐待相談対応職員の配置を充実させるほか、市町村における相談体制の強化として、虐待相談の中核となる市町村職員の養成を進めます。

AI導入による犯罪捜査の効率化

人工知能(AI)を活用して、犯罪捜査の効率化を図ります。犯罪の内容が多様化・複雑化していることを踏まえ、容疑者の早期検挙に向けて、AIを活用した事件分析の自動化による犯罪捜査の効率化を図ります。AI導入により、事件分析のスピードアップが図られるなどのメリットが期待されます。



次のステージに向けて



私は平成23年に、皆様方のご支援により埼玉県議会議員に就任して以来、2期8年間、皆様にお約束をいたしました「安心、安全で豊かな暮らし」を実現するために日々、精力的に現場に赴き、自分の目で確かめ、市民や県民の皆様の声に真摯に耳を傾けることで、その声を「政策」という形に結実させるため、県政活動に邁進してきました。その結果、高崎線と東海道本線の相互直通運転や、私学に通う世帯の負担軽減、上尾道路1期区間の開通、国道17号など幹線道路の修繕、赤堀川改修など自然災害に強い県土づくり、小児医療センターの開設をはじめ医療体制の充実などを実現することができました。

今後も、初心を忘れることなく、皆様方の生の声に謙虚に耳を傾け、清新な気持ちで清廉な政治活動に励みます。

県議会議員2期8年間で培った国や県、市との太いパイプ、厚い信頼関係が私の政治家としての大きな財産です。こうした財産を生かして、私達が住み、学び、働きたい故郷が安心、安全に暮らせる地域となるよう、今後ともその構築に全力を尽くしてまいります。

引き続きの「支援」「指導」をよろしくお願い申し上げます。

